

令和2年10月14日(水)に開催した令和2年度第6回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議案

(1) 専任教員の採用について

ア 趣旨

事務局から、5月13日の役員会で承認された文化政策学部(分野:地域福祉・社会統計)デザイン学部(分野:テキスタイル、建築、インテリア)の専任教員公募の採用候補者を選考する面接を実施し、4名の候補者が決定したので、その採用について意見を求める旨、説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(2) 非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、前任非常勤講師の委嘱終了への対応により新たに1名の非常勤講師の委嘱をすることについて、その承認を求める旨説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

(3) 華東師範大学(上海)との交流協定について

ア 趣旨

事務局から、華東師範大学デザイン学部と本学との研究交流および交換留学協定を締結することについて、その承認を求める旨説明があった。

イ 主な意見・質問

特になし

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

(1) 令和2年度研究成果発表会の開催について

事務局から、令和元年度に採択された教員特別研究費を活用した研究成果を、地域や学生に広く還元するため、10月29日(木)に研究成果発表会を開催することが報告された。

3 その他

(1) 遠州学林構想中間答申についての意見交換

ア 趣旨

遠州学林構想中間答申についての意見交換をおこなった。

イ 主な意見・質問

- ・構想と教育と結びつけるのは難しいのではないかと。
- ・県民、市民にもっと分かりやすく、この大学が何を目的として何のためにお金を使うのかということを手く示していく必要がある。

以上